

# X線CTと3Dプリンタで技術のデジタル化

工学部技術・経営工学科 応用材料工学研究室

## ■ 応用が想定される領域

宝飾品製造

機械部品製造

## ■ 課題と背景、解決方法

職人も減り、少子化によって、モノづくりにこれまでほど手間をかけられない時代となります。

X線CTを用いたリバースエンジニアリングにより得られたデータをもとに3Dプリンタで再現することで、デジタル化したデータに元づく製造技術を開発しています。

## ■ メリット

デジタル化による技術資産の蓄積が可能となります。  
また、本研究室では鋳造も可能なプリンタ材料を活用することで金属製品が得られます。

## ■ 特許申請の予定なし

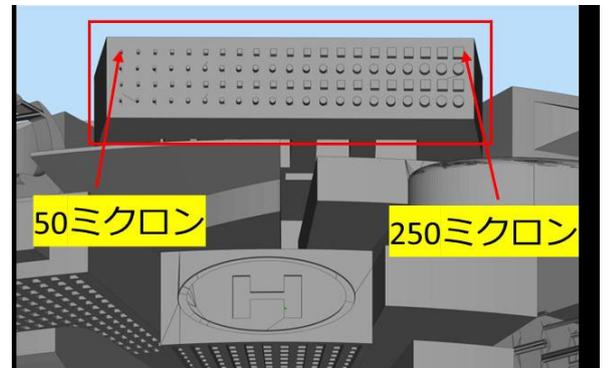
## ■ Technology Readiness Level 3

## ■ キーワード

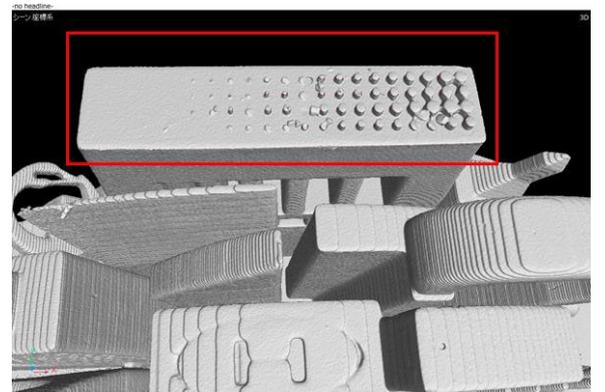
リバースエンジニアリング、CT、鋳造

## ■ 問合せ先

地域連携キャリアセンター 電話 0256-47-5513 mail [innovation@sanjo-u.ac.jp](mailto:innovation@sanjo-u.ac.jp)



↳テストパターンのCADデータ



↳テストパターンの3Dプリンタによる製造例

鋳造可能な材料にて作製したパターンをX線CTにて計測

